

こども図書館 2・3月あかべえ展示コーナー

『読んであたたかくなる物語・本』

タイトル	著者名	出版社	出版年
おふろだいすき	松岡 享子 作 林 明子 絵	福音館書店	1982
<p>ぼくはおふろが大好き。あひるのプッカをつれてはいると、かめやペンギン、オットセイやくじらまで登場して……。子どもの空想の世界をのびのびと描いた絵本。</p>			
ゆうかなアイリーン	ウィリアム・スタイグ 作 おがわ えつこ 訳	セーラー出版	1988
<p>病気になったお母さんの代わりに、猛吹雪とたたかってドレスを届けるアイリーン。日が暮れ道に迷い足をくじいたアイリーンは、お母さんを思うことで奮起します。</p>			
ポカポカホテル	松岡 節 作 いもと ようこ 絵	ひかりのくに	2000
<p>たっちゃんのおうちのスリッパはどこにいつちゃったの？ 小さな動物の冬ごもりのためポカポカホテルに、本当に寄贈されたの？ 温かい絵が魅力的な絵本。</p>			
だんろのまえで	鈴木 まもる 作 絵	教育画劇	2008
<p>雪の降る山で迷ってしまった「ぼく」。ドアのついた大きな木を見つけ、休ませてもらおうとドアを開けると、そこにはだんろを囲む動物たちがいて…。温かな場所と、そのままの自分を受け入れてくれる仲間の大切さを伝える絵本。</p>			
みんなでぬくぬく	エルザ ドヴェルノア ぶん ミシェル ゲー え すえまつ ひみこ やく	童話館出版	1997
<p>さむいさむい冬がきました。なのにはりねずみのトゲトゲのうちでは、ストーブがこわれて暖かくなりません。そこにりするクルミワリがやってきました。ふたりは体をよせあって寝ることにしましたが…。</p>			
おふろだいすき!ぷっぺ	よしなが こうたく 作	小学館	2009
<p>ぷっぺは、おとうさんに、はじめておふろやさんに、つれてきてもらいました。ひろいおふろに、おおはしゃぎのぷっぺ。すかんくのおならでつくった「あわぶろ」、びりんびりんとしびれるでんきうなぎの「でんきぶろ」…。いろんなおふろに、でたりはいたりしていると、とつぜん、たぬきのおやじにおいかけられて…。</p>			
たったひとりのともだち	原田 えいせい 作 いもと ようこ 絵	金の星社	2013
<p>ひとりぼっちのからすに、はじめて、ともだちができました。びょういんににゆういんしている、めのみえないしょうねんです。うれしくてうれしくて、からすは、まいにちともだちにあいにいきました。ところが、しょうねんのぐあい、ひにひにわるくなっていき…。</p>			
さいこうのスパイス	亀岡 亜希子 作絵	PHP研究所	2013
<p>なにを食べても「まずい」というリスのぼっちゃん。森のカフェでシェフをやっているオオカミは、ぼっちゃんに美味しいりょうりを作ってほしいとたのまれました。おいしすぎてだれでもえがおになる、じまんのりょうりを作りましたが、ぼっちゃんに「まずい」といわれてしまったオオカミは…。</p>			
スキーをはいたねこのヘンリー	メリー カルホーン 文 エリック イングラハム 絵 猪熊 葉子 訳	リブリオ出版	2002
<p>2本足で歩くことの得意なねこのヘンリーは、家族の人々と山小屋へ出かけますが、帰りの日に間違っ置いてきぼりにされてしまいます。そこでヘンリーは雪の中、スキーをはいて帰る決心をします…。</p>			